

宮本順三記念館・^{おもけや}豆玩舎ZUNZOと文化の駅について

1915年、大阪市内で生まれた宮本順三（ZUNZO）は10歳の時に河内小阪へ移り住み、生涯を過ごしました。当時の小阪界隈では帝国キネマの映画撮影が行われ、ZUNZO 少年は絵日記にもその撮影風景を記しています。

1935年からグリコの豆玩具デザイナーとして日本中の子ども達に夢を届けるおもちゃを数多く考案し、その製造は東大阪市で半世紀続きました。また自宅アトリエで数多くの絵画作品を描き続けました。

1998年4月1日、豆玩舎 ZUNZO が大阪今里で開館しました。（2002年に東大阪市に移転）

宮本順三（ZUNZO/1915～2004）が、幼少期から収集の大阪・日本の郷土玩具や日本各地の郷土玩具、約80ヶ国以上を旅して集めた世界の玩具、仮面や民芸品、絵画とグリコのおもちゃ作品を展示しています。

2018年、郷土ゆかりの芸術家 ZUNZO の思いを受け継ぐ活動の場として「文化の駅」が誕生します。

「文化の駅」では、下記の5つの活動に取り組みます。

① 子どもから大人までが楽しく学ぶことのできる博物館

多世代が遊びながら学びあう場を目指し、世代間交流なども大切にします。

② 絵とおもちゃを通じて、平和な世界を

ZUNZO が描いた祭の絵画や世界の玩具・民族資料の数々に学び、国際交流、多文化理解、平和を願う活動に取り組みます。

③ 古きを知り、新しいモノを作る

記念館には玩具だけではなく、考古学・民族学に関心が深かった ZUNZO が集めた民族資料を展示しています。世界の伝統的なモノ作りや精巧なミニチュアにも学び、様々なモノづくり体験をします。

④ 創意工夫～ズンゾ&サブローのアイデア工作

岡田三朗（サブロー）は、「大阪生まれ・世界育ちのカッターナイフ」のOLFA株式会社を兄弟で創業しました。ZUNZO の遺志を継ぎ、創意工夫のおもちゃ作りから手作りの大切さ、道具の正しい使い方を伝えています。

⑤ ZUNZO が愛したまち（大阪・東大阪）

ZUNZO の歩みとコレクションから学ぶ郷土の文化と歴史。文化の駅では、まち案内や情報発信、東大阪市の伝統的なモノづくり商品の展示と販売、年数回まちの歴史や文化を知る展示や講座も開催します。

「まなぶ・あそぶ・つくる」文化の駅へ、ぜひお出かけください！

あそぼう

遊房 カルチャールーム利用者募集！

- 記念館見学と工作、モノづくり体験
 - 各種カルチャー教室の場
 - まち歩きの休憩、お弁当スペース
 - 講演会、イベント会場
 - 団体、グループの活動拠点
- ※利用についてはお問い合わせください。



ボランティア募集中！！

世界のおもちゃに囲まれて、ホッコリ楽しいひと時を過ごしませんか。多世代が交流しながら記念館を支える活動をしています。展示館受付と見学・体験の案内や教室・講座・イベントなどのスタッフをお願いします。

お気軽にお問い合わせください。